

プレゼミナールの進め方

1. テキスト

必要に応じて、プリントを配付。教科書として、特に購入する必要はなし。

2. 注意事項

- ・キャリア形成論と平行してプレゼミナールの7回分を実施するので、スケジュールには十分注意してください。キャリア形成論の課題の締切にも十分注意してください。
- ・「図書館ガイダンス 2024」の動画（ガイダンスムービー2024）と資料が既に学生ポータルサイト（図書館）にアップされているので、各自で視聴してください。また、辻原からも関連する資料を提供する予定ですので、それらも各自で確認してください。

【配付物】「図書館利用方法とインターネットの利用」に関する資料を配付

3. スケジュールと課題

今年度はできるだけ早めに一通りレポート作成とプレゼンテーションまでを体験してもらうことを考えました。少し大変かもしれませんが、この後の学生生活ができるだけスムーズに進むように考えてのことです。

04月08日 1週目（プレゼミナール第1回目/キャリア形成論なし）

履修登録の確認，今後のスケジュールの説明，これからの学生生活に期待すること

【この日の授業のための準備】

- ・特に準備は必要ありません。

04月15日 2週目（プレゼミナール第2回目/キャリア形成論（学長・学部長講話））

履修登録の確認・追加，大学で学ぶことの意味，大学と実社会

- ①大学では，どんなことを身につけたいか？，社会に出たときにどんな「力」を身につけておく
とよいと思うか？→そのためには，どんなことをしておけばよいか？
- ②10年後，20年後，30年後の自分の姿を考えてみましょう。

【この日の授業のための準備】

- ・①と②について事前に少し考えておく。
- ・履修登録の再確認ができるよう出力した紙を持参する。

【配付物】「将来の進路（行き先）」に関する情報を配付

04月22日 3週目（キャリア形成論（PROGテスト））

プレゼミナールは実施しませんので、教室に集まる必要はありません。PRGテストにしっかりと取り組んでください。

→04月29日は祝日のため講義はありません。

05月06日 4週目（プレゼミナール第3回目/キャリア形成論（世界に伸びるキャリア形成））

3週間の講義を受けて困ったこと、大学で学ぶことの意味、大学の授業スタイル

①大学での講義を3週間受けて振り返って困ったこと、どうしたらよいのかよくわからないこと、相談したいことなどはないか？

②大学の学修と高校までの学習の内容や方法、授業のスタイルの違いを考えてみましょう。

→高校までの学習内容や授業スタイルはどのようなものであったか？

→大学での学修内容や授業スタイルはどのようなものか？（今後、どのようなものが実施されると想像されるか？）

③大学でのノートの取り方を考えてみましょう。

【この日の授業のための準備】

・自分のノートをいくつか持参する。高校や予備校（塾）のノートでも結構です。

【配付物】「ノートの取り方、講義を受けるために」と「テーマの選び方」に関する資料を配付

05月13日 5週目（プレゼミナール第4回目/キャリア形成論なし）

1ヶ月間を振り返って、学修テーマを決定する

①1ヶ月間の学生生活を振り返ってみましょう。

→得られたものは？得られそうなものは？（反省ではなく「振り返り」、今後に活かすことを考えましょう）

②これからの4週間でレポート作成に取り組もうとする学修テーマ候補から、実際に取り組む学修テーマを決定する。→学修テーマに沿って各自でレポートを作成してみましょう。

目標：感想文（自分が思ったことを述べる）からレポート（相手が納得できるように説明する、「なぜ」を説明する）へ

【この日の授業のための準備】

・先週配付した学修テーマの選び方に関する資料を参考にして、最低3つは自分で取り組んでみたいと思うテーマ候補を考える。

・それぞれのテーマ候補について、どうして（なぜ）そのようなテーマ候補を選んだのか、も1人5分程度の持ち時間で発表（説明）する。

・A4版1～2枚程度の配付資料を、各自で**6部**（学生5人+辻原1部）ずつ準備して配布する。

【配付物】「レポートの書き方」に関する資料を配付

05月20日 6週目（プレゼミナール第5回目/キャリア形成論（ライフデザイン概論））

レポート作成のための素材を集める

①05月13日に決めた学修テーマでは、具体的にどんなことをどんな方法で調べて内容を深めていくのか、どのようにして素材を集めるか、を1人10分程度の持ち時間で発表（説明）しましょう。

【この日の授業のための準備】

- ・学修テーマに沿って、実際に調べる方法を考えて、発表する。どこで（何で）調べるのか、を考える。その際、できるだけインターネットのホームページは使用しない。できるだけ本（書籍）を読む癖をつけたい。
- ・調べてみた内容についても、少しでもよいので、あわせて発表する。
- ・A4版1～2枚程度の配付資料を、各自で6部（学生5人＋辻原1部）ずつ準備して配布する。

【配付物】 特になし

05月27日 7週目（プレゼミナール第6回目/キャリア形成論なし）

レポートの章立てや構成、内容案を考える

①どんな章立てにしてレポートを作成するのか、レポートの第一案を考えてそれをもとに、1人10分程度の持ち時間で内容を説明しましょう。

【この日の授業のための準備】

- ・05月13日に配付されたレポートの書き方に関する資料を参考にして、レポートの章立てや構成、内容の案を作成する。その際、05月20日に出された他の受講生からの意見や助言を参考ににする。
- ・レポートはできるだけワープロで作成する方が望ましい。作成するレポートの枚数や形式は、特に指定はしない。各自で自由に決める。
- ・発表の際には、レポート第一案を、各自で6部（学生5人＋辻原1部）ずつ準備して配布する。

【配付物】 「プレゼンテーションの方法」に関する資料を配付

06月03日 8週目（プレゼミナール第7回目/キャリア形成論（キャリアデザイン概論））

レポートを提出して、発表する

- ①レポートの内容を1人10分程度の持ち時間で発表しましょう。
- ②発表では、できればパワーポイントなどのソフトも使ってみましょう。
- ③採点表を使って、他の人の発表について評価してみましょう。

【この日の授業のための準備】

- ・05月27日に出された他の受講生からの意見や助言を参考にして、最終レポートを作成する。レポートはできるだけワープロで作成する方が望ましい。枚数や形式などは、特に指定はしな

い。各自で自由に決める。

→最終レポートの本体は、辻原のみに提出すればよい。

- ・05月27日に配布されたプレゼンテーションに関する資料を参考にして、発表を準備する。
- ・発表の際には、レポート本体とは別に発表用配付資料（A4版1～2枚程度）を、各自で6部（学生5人+辻原1部）ずつ準備して配布する。

【配付物】特になし

※**06月10日以降**のスケジュール（予定）

プレゼминаールは実施しませんので、教室に集合する必要はありません。

- 06月10日（9週目） フィールドワーク説明会（対面）
- 06月17日（10週目） 上級生によるキャリア形成体験談（対面）
- 06月24日（11週目） キャリア形成論も課題なし
- 07月01日（12週目） PRGテスト結果説明会（対面）
- 07月08日（13週目） キャリア形成論も課題なし
- 07月15日 祝日のため講義なし
- 07月22日（14週目） 卒業生によるキャリア形成体験談（対面）
- 07月29日（15週目） キャリア形成論も課題なし

3. 参考図書（順に、書名、編著者名、発行所、発行年月、本体価格、ISBN番号、熊本県立大学図書館所蔵情報（〔〕内）。）

- [1]『**大学生入門 3訂版**』（高橋三郎・新田光子，世界思想社，2009年3月，1,300円＋税，ISBN：978-4-7907-1394-4）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000323285〕〔電子ブック，5000000197〕
→初版（2001年6月，ISBN：978-4-7907-0881-0）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000249269〕，
改訂版（2006年2月，ISBN：978-4-7907-1167-4）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000300324〕
もあり。

※以下の参考図書でもよいかもしれない。

- ・『**大学新入生ハンドブック**』（世界思想社編集部編，世界思想社，2014年11月，520円＋税，ISBN：978-4-7907-1641-9）〔和書（2F），377.9||Se 22, 0000364024〕〔電子ブック，5000000195〕
- [2]『**スタディスキルズ・トレーニング 改訂版 大学で学ぶための25のスキル**』（吉原恵子・間瀬泰尚・富江英俊・小針誠，実教出版，2017年10月，1,200円＋税，ISBN：978-4-407-34061-

7) 〔就活・レポート（1F）, 377.15||Y 87, 0000379748〕

→初版（2011年6月, ISBN:978-4-407-32243-9）〔和書（2F）, 377.15||Y 87, 0000342518〕

[3] 『**アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門 第3版**』（佐藤望編著, 湯川武・横山千晶・近藤明彦, 慶應義塾大学出版会, 2020年2月, 1,000円＋税, ISBN:978-4-7664-2656-4）〔就活・レポート（1F）, 377.15||Sa 85, 0000386409〕〔電子ブック, 5000000089〕
→同じ出版社で, 同じ「アカデミック・スキルズ」シリーズにいろいろな分野の本がある
→第2版（2012年9月, ISBN:978-4-7664-1960-3）〔和書（2F）, 377.15||Sa 85, 0000352556〕,
初版（2006年10月, ISBN:4-7664-1324-5）〔和書（2F）, 377.15||Sa 85, 0000304262〕

[4] 『**大学生 学びのハンドブック 勉強法がよくわかる！ 6訂版**』（世界思想社編集部編, 世界思想社, 2024年3月, 1,200円＋税, ISBN:978-4-7907-1791-1）〔所蔵なし〕

→5訂版（2021年2月, ISBN:978-4-7907-1749-2）〔和書（2F）, 377.15||Se 22, 0000390348〕
〔電子ブック, 5000000201〕, 4訂版（2018年1月, ISBN:978-4-7907-1707-2）〔和書（2F）, 377.15||Se 22, 0000378893〕, 3訂版, 改訂版, 初版もあり

4. 担当者

教授・辻原万規彦

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）4階南西角

電話：096-383-2929（内線492）, 096-321-6706（直通）

e-mail: m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

※何かわからないことがあれば, e-mail, Canvas LMS（ただし, Canvas LMSは教員もまだ不慣れなため, 対応が遅れるかもしれません）で質問してください。

研究室助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）3階南西角・田中研究室／4階中央・岡本助手室

電話：096-383-2929（内線482（助手室）／内線475（田中研究室））

e-mail: okamoto@pu-kumamoto.ac.jp